

# 市議会だより NAGASAKI

No.192  
2025.11.1



ながさきピース文化祭2025開催中 2025.09.14-11.30

長崎流鏑馬保存会

## 主な内容

|                  |     |
|------------------|-----|
| 令和7年9月定例会の概要     | 2   |
| 一般質問             | 2～5 |
| 議決結果             | 6   |
| 常任委員会における審査の主な内容 | 7   |
| 人事、陳情など          | 8   |

# 9月定例会の概要

令和7年9月定例会を次のとおり開催しました。

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 9月5日                  | 本会議 議案上程(委員会付託) |
| 9月10日～11日、<br>16日～17日 | 本会議 市政一般質問      |
| 9月18日～19日、<br>22日、24日 | 常任委員会           |
| 9月25日                 | 特別委員会           |
| 9月29日                 | 本会議 委員長報告等      |

## 各種使用料・手数料改定に係る議案を可決

○市の施設利用や手続に係る使用料・手数料について、受益者負担の適正化を図るため、関係する条例を改正する議案を可決しました。

なお、「使用料及び手数料の改定に当たり適切な対応を求める意見書」を可決し、議会から市長へ提出されました。  
○各種使用料・手数料の改定については、令和8年4月以降、新たな料金が適用される予定です。

## 一般質問

質問した順番で掲載しています。

各議員名の下にあるQRコード※から質問の映像をご覧になれます。

### 平和公園スポーツ施設の再配置



自民創生  
澤勢みずき



**問** 長崎南北幹線道路整備に伴う平和公園スポーツ施設の再配置については、各施設の移転先を決定し、各施設の再整備に向けて検討を進めていると聞いているが、スポーツ施設の移転に係る県からの補償費と建設に係る国からの補助金制度活用のための協議状況を伺いたい。

**答** 県は令和6年度末から各施設の移転補償のための建物調査に着手しており、現在、補償費用の算定が進められている。本市は、補償費の早期提示を改めて県へ要望しており、補償費の概算は今年度末までに提示される予定となっている。また、移転後のスポーツ施設の整備は本市が実施するが、補助金を最大限活用するため国土交通省の補助金制度の活用を検討している。補助金の活用には、国から具体的な施設の整備計画が求められているため、整備計画の策定後、速やかに国や県と協議を進めていく。

### 本市の障がい者雇用促進



市民クラブ  
池田 章子



**問** 6月議会で、市が障がい者雇用の対象を身体障がい者に限定することは法律の趣旨に反するので制限をなくすべきと指摘したところ、まだ受入環境が十分に整えられていないという答弁だったが、8月の採用試験の募集から精神障がい者や知的障がい者にも対象が拡大された。この急な変更の理由は何か。

**答** 議員からの指摘や長崎労働局からの助言も踏まえ、他都市の事例などを確認したうえで、障害者雇用の在り方について検討したもので、障害のある方の申出に対し一つずつ対応しながら正規雇用に関する取組を進めることが最善であると判断し、今年度の採用試験の募集から全ての障害のある方を募集対象とするよう見直した。障害のある方が、能力を発揮し、長期的に安定して働き続けるために、引き続き職場環境の充実に努めていきたい。

### ミライの平和活動展の反響



公明党  
久 八寸志



**問** 8月に開催されたミライの平和活動展では、教育版マインクラフトを使ったワークショップなど、新たなデジタルコンテンツを活用した体験型学習が行われたが、反響はどうだったのか。

**答** この企画展では、小学生の親子25組が被爆前の長崎の町並みを再現するワークショップや、高校生がAIを活用して戦前・戦後の白黒写真をカラー化する取組を実施した。参加者からは、得られた知見を生かして継承していきたい、カラー化した写真を見るとより現実的に感じる、この活動を続けるべき、などの感想を頂いた。この企画展は、最新のテクノロジーを活用し、被爆の実相を効果的に伝えるところにも、若い世代が、長崎の記憶を未来へつなげる意識を持つきっかけとなるものであったと考えている。





自民創生

山崎 猛



## 長崎市DX推進計画の進捗

**問** 令和7年3月に長崎市DX推進計画が改訂されたが、第一期からこれまでの具体的な取組について伺いたい。

**答** 本市においては、引越しや子育てなど市民に身近な手続のオンライン化を優先的に進めてきた。そのほか、ながさきマップの拡充をはじめ、市ホームページと公式LINEのリアルニューアルにより、市民がスマートフォンから得られる情報やサービスを増やし、市民の利便性の向上に努めている。さらに、自治会のデジタル化支援、高齢者向けスマホサロンの開催、学校教育でのAI型教材の導入、長崎大学と連携した子ども向け最新テクノロジー体験の場の提供など、市民生活のDXを推進する取組を行っている。今後も長崎市DX推進計画に掲げる施策を実現し、市全体のDX推進に取り組んでいく。



市民クラブ

野口 達也



## 広域的な赤潮対策

**問** 橘湾における赤潮は、湾内での発生もあるが、有明海や八代海からの流入もあることから、橘湾の赤潮を未然に防ぐためにも、熊本県との連携を図るべきだと思うが、本市の考えを伺いたい。

**答** 橘湾の赤潮発生には有明海や八代海からの流入による影響もあり、広域的な取組が不可欠であると認識している。昨年度は長崎県、熊本県、鹿児島県の三県合同で国に対し赤潮被害対策の緊急要望を行ったほか、今年度は熊本県選出の国会議員にも要望活動を行った。さらに、長崎県と熊本県の関係機関との間で情報共有を図っているほか、熊本県内の漁協とも協力し八代海の養殖場にも観測機器を設置するなど、有害プランクトンの発生状況を迅速かつ広域的に把握できる体制を整備しており、今後も連携を強化していきたい。



市民クラブ

山谷よしひろ



## ファミリー・サポート・センター事業

**問** 子育てサポートを依頼する「おねがい会員」からは利用料が高い、依頼を受ける「まかせて会員」からは報酬が低いとの声が聞かれる。市の公費負担により、利用料の減額と報酬の増額を行うことはできないか。

**答** ファミリー・サポート・センター事業は、有償ではあるものの、ボランティアとしての性格が強い活動であると認識している。同事業は地域住民による子育ての支え合い活動として非常に重要なものであり、報酬や利用料金の在り方については課題の一つであると認識しているが、公費負担による報酬の引上げや利用料の減免には財政負担も伴うため、他都市の状況等も踏まえながら、今後の制度のあるべき姿を検討していく。



新政ミライ

平 たけし



## 大井手川を活用したコミュニティづくり

**問** 滑石地区の大井手川は、大神宮交差点付近の整備がおおむね完了したとのことだが、現在は雑草が生い茂り、立入りを制限していると聞いている。こうした状況で、大井手川を子どもたちが遊べる地域コミュニティづくりの資源としてどのように活用していくのか伺いたい。

**答** 現在は安全対策が必要なため、一部で立入りを制限しているが、令和8年度中に安全施設の整備を行い、立入り制限を解除する予定である。魚がすみ、自然と触れ合える環境は、滑石地区の新たな資源になると考える。この環境を、家族や学校での学習の場、体験の場などとして、より多くの地域の皆様に活用していただき、今後も活用について意見交換しながら地域コミュニティづくりにつなげていきたい。



日本共産党  
大石ふみき



## 高校生世代のこども福祉医療費の現物給付

**問** 高校生世代のこども福祉医療費は償還払いでの支給であることから、申請手続が市民の負担となっている。令和8年度の制度見直しにあたり、県が現物給付を実施しなかった場合、市が単独で現物給付を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答** 市独自でこども福祉医療費の現物給付を実施した場合、約8,000万円の増額が見込まれるため、こども・子育て施策全体の中での判断が必要であると考ええる。県においては、令和8年度からの支給方法や県補助の在り方について、今年度中に明示するとしており、県知事から「現行の償還払い方式は手続が煩雑であり、県民にとって利便性の高い制度が望ましい」という発言も頂いている。本市としても、引き続き県に対して現物給付化の実現を強く要請していく。



公明党  
山本 信幸



## 公共施設エレベーター維持管理への専門業者導入

**問** 公共施設エレベーターの維持管理を一括して専門業者へ委託することで、コスト削減及び統一的な維持管理体制による効率的な管理とリスク低減が見込まれると思うが、市の見解を伺いたい。

**答** 公共施設における一括した維持管理の実施は事務の効率化や安全性の向上、コスト削減等も見込まれ、有効な手段であると考えており、現在は、学校施設の包括施設管理業務委託や、ふれあいセンターなど一部の施設において、エレベーターの保守点検業務の一括発注を行っている。その効果を踏まえ、エレベーターの維持管理に係る専門業者への一括管理の導入については、現在の各公共施設のエレベーターの管理状況の整理や費用対効果の分析を行うとともに、他都市の導入事例も参考にしながら、本市の実情に応じた維持管理体制の構築に向けて研究を進めたい。



自民創生  
梅元 建治



## 人口減少下における若者の定着

**問** 若者の定着は本市の重要な課題である。市は、若者の声を聞く場である「ながさき若者会議」の今後の方向性をどのように考えているのか。また、若者が定着するための政策をパッケージ化して市民に分かりやすく提示する考えはないか。

**答** 本市では、若い世代に選ばれる魅力的なまちを目指すべき姿として掲げ、若い世代を意識した取組を進めている。若者が学び、チャレンジできる場として立ち上げた「ながさき若者会議」については、現在、メンバーと今後の方向性の協議を続けており、これからも若者の声に耳を傾け、伴走しながら、より良い学びと挑戦の場になるよう努める。また、政策をパッケージで見せていくことについては、少子化対策やシティプロモーションなどで行っており、引き続き効果的な見せ方を意識して取り組んでいく。



自民創生  
浅田 真五



## 国旗掲揚に対する本市の考え方

**問** 9月12日に天皇皇后両陛下並びに敬宮愛子内親王殿下が平和公園をご訪問された際、公園に国旗が掲揚されたとおらず大変残念に思った。また、平和祈念式典でも国旗の掲揚がないが、本市の国旗掲揚に対する考え方を伺いたい。

**答** 市庁舎や地域センター等の掲揚台のある施設では、原則、平日と祝日に国旗を掲揚するようにしている。イベント等では、開催趣旨や目的、主催者の要請等を勘案して掲揚の判断を行っている。国旗は国民のアイデンティティーの証として重要な役割を果たすものと認識しているが、国旗掲揚については、引き続き各種行事の趣旨や施設の目的などを勘案し判断していく。なお、平和祈念式典での国旗掲揚をこれまで検討した記録は残っていない。原爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和への祈念という目的を達成できるよう、式典を実施していく。



公明党  
福澤 照充



## 小児慢性特定疾病医療費に係る 手続の簡素化

**問** 当該医療費に係る申請や更新の際は、多くの書類の提出や窓口での手続が必要であり、保護者にとって大きな負担となっている。他都市ではオンラインでの申請を行っているが、本市で導入する考えはないか。

**答** 本市では、小児慢性特定疾病医療費の対象となる疾患を抱える18歳未満の児童の医療費を助成しており、令和6年度は計418人に助成を行っている。国は、今年3月末にマイナポータルでのオンライン申請ができるよう標準様式を示したが、申請書類の一部は依然として紙媒体での提出となることから、これまで本市では導入していなかった。しかし、手続の負担軽減につながるのとや他都市での実績があることから、本市においても、速やかに導入のための作業を進め、オンライン申請ができる環境を整えていく。



新政ミライ  
阿部のぞみ



## まちなかに回遊性を持たせるための仕掛け作り

**問** 本市には「長崎」と一目でわかるフォトスポットが少ない。より多くの観光客に訪れていただくためには、例えば青森におけるリンゴのオブジェのように、インパクトのあるものを市の施設を中心に配置することで、まちなかの回遊性を高める仕掛けとする考えはないか。

**答** フォトスポットの設置は訪問客の回遊性を高め、にぎわいの創出に寄与する手段の一つと考えているが、設置場所によっては、景観への調和や訪問客の滞留による影響も想定されるため、近隣住民の理解や管理上の課題等が生じる場合もある。そのため本市におけるオブジェを活用したフォトスポットの導入は、こうした課題の整理を十分に行う必要があると考えている。今後とも、ご提案も参考にしながら市内を楽しく回遊できる周遊型観光の推進につなげていきたい。



公明党  
永尾 春文



## 高齢者等のためのバス停環境の整備

**問** 他都市では、高齢者や障害者の外出支援のため、バス停へのベンチ等の設置を推進している。高齢化が進む本市でも、全バス停のベンチ環境調査を実施し、誰もが利用しやすいバス停の環境整備を推進すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

**答** 超高齢社会が進展する中、公共交通の利便性向上は福祉の観点からも重要と考えている。長崎市地域公共交通計画では、主要な交通結節点の整備を進めることとし、矢上バス停等で待合環境の整備を行っている。その他のバス停は、交通事業者が原則行うものとし、可能な限り上屋の設置等が進められているが、全バス停への設置には地形的な制約等の課題がある。現在、市では利用者の多いバス停を対象に調査を進めており、引き続き関係部局や交通事業者、バス停の環境整備の推進を働きかけていく。



新政ミライ  
高橋 佳子



## 公園の在り方

**問** 本市では公園を利用実態に合わせて廃止・集約していく方針だが、方針や計画に対する市民への周知・説明が進んでいない。また現在の公園を安全安心に利用するための課題もある。市は長期的な計画と当面の課題解決の両面を市民に示し、理解を得て進める必要があると考えるが、市はどのように取り組むのか。

**答** 市では、人口減少や少子高齢化を踏まえ、2040年を見据えた公園の適正配置に取り組んでいる。令和6年度に適正配置案を整理し、今年度から地域住民との意見交換を始めている。また、現在の利用についても、老朽化した施設が多く、すぐに修繕等の対応ができない場合があり、その場合は使用禁止や撤去の方針、問い合わせ先等を明示し、利用者に分かりやすく周知したいと考えている。今後も地域の皆様に丁寧な説明を行い、様々な意見を聞きながら取組を進めていく。



## 議決結果

※賛成者は「○」、反対者は「×」、欠席者は「欠」、除斥者は「除」、退席者は「－」と表記しています。  
※議長は表決に加わらないため、「/」表記としています。

[illegible]

議決結果及び議案の詳細はホームページでご覧になれます。



ながさき市議会だより 2025.11

# 常任委員会における審査の主な内容

## 総務委員会 長崎市手数料条例を可決

第93号議案「長崎市手数料条例」については、市が徴収する手数料を改定すること及び徴収時期の明確化並びに減免規定の見直し等を行うものです。

委員会では、各種証明手数料に係るコンビニ交付の料金を据え置いて、窓口交付の料金を上げることに對する見解について質すなど、内容検討の結果、一部委員から、現行の料金を受益者負担の適正化に

じて引き上げることは、市民サービスの維持に努め、現行の料金を据え置くことを求める立場から認められないことを主な論拠とする反対意見が出されました。一方、コンビニ交付やマイナンバーカードの利用拡大に向けた方策などを庁内で検討してほしいとの要望を付した賛成意見が出されたので、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

## 教育厚生委員会 長崎市民会館条例の一部を改正する条例を可決

第110号議案「長崎市民会館条例の一部を改正する条例」については、同施設の利用料金の基準とする額の改定及びその他所要の整備をしようとするものです。

委員会では、軽スポーツ室における平日及び土日休日の利用料金区分を統一した理由、貸館施設に子

ども料金の設定がない理由について質すなど、内容検討の結果、市民体育館の練習利用及び卓球室については子ども料金の適用がなくなることで、小中高校生の負担が大きくなることから認められないことを主な論拠とする反対意見が出されたので、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

## 環境経済委員会 長崎ペンギン水族館条例の一部を改正する条例を可決

第140号議案「長崎ペンギン水族館条例の一部を改正する条例」は、施設の利用料金の基準とする額の改定をしようとするものです。

委員会では、家族で訪れた場合にかかる料金の他の水族館との比較や子育て支援の観点から見た検討状況、施設の利用促進や情報発信のための減免についてさるくガイドや観光大使等を新たに対象とする一方で、同様の効果が期待できる小中学生や引率者

等は減免を一部廃止することの妥当性について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、値上げによって利用者の減も見込まれることから、家族割などの新しい料金体系を検討してほしい、家族連れは情報発信に寄与すると考えることから、減免の対象としてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

## 建設水道委員会 長崎市都市公園条例の一部を改正する条例を修正可決

第160号議案「長崎市都市公園条例の一部を改正する条例」は、都市公園の使用料及び利用料金の基準とする額の改定をしようとするものです。

委員会では、長崎市平和会館において、空調設備等の料金を使用料に含めたことで、使用料が大幅な値上がりとなっていることから、これまでの空調設備等の利用実績や利用者への事前の説明状況について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、空調設備等の料金を使用料に含めたことで、これまでの使用料から最大で約14.5倍の上がり幅となり、空調設備を利用しない人がその費用ま

で支払わなければならないことから認められない等の理由により、5名の委員から連名で、平和会館の使用料において、空調設備等の料金を使用料に含めた料金設定から、使用料の改定分のみを増額する料金設定に改めようとする修正案が出されました。

その後の討論で、平和会館以外の施設においても空調設備等の料金が使用料に含まれていることから認められないなどの反対意見が出された一方、今後は施設の利用実態に応じた対応を行ってほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で修正可決しました。

## 陳 情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

- ▶一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会（NITCA）と長崎市の関係性におけるガバナンスおよび運営構造に関する問題点の指摘と改善を求める陳情（環境経済委員会）
- ▶亀山社中記念館の入館料改定に関する陳情（環境経済委員会）

## 人 事

次の人事案件について、同意することに決定しました。

- ▶教育委員会の委員  
北川 栄太 氏（再任）
- ▶固定資産評価審査委員会の委員  
山内 邦彦 氏（再任）
- ▶人権擁護委員の候補者  
井口 元孝 氏（新任）、澤谷 修造 氏（再任）  
白川 鮎美 氏（新任）、馬場 登喜子 氏（新任）

## 議員派遣

次のとおり、各都市へ議員を派遣しました。

- ▶セントポール市姉妹都市提携70周年記念公式訪問団への参加  
派遣期間：令和7年8月21日～8月26日  
派遣場所：米国 セントポール市  
派遣議員：相川 和彦、井上 重久、向山 宗子
- ▶夜景サミット2025 in 台湾への参加  
派遣期間：令和7年9月30日～10月3日  
派遣場所：台湾  
派遣議員：木森 俊也、毎熊 政直

## その他

- ▶社会福祉法人等無報酬役員届出書の提出  
長崎市議会議員政治倫理条例に基づき、6月23日に森きょうへい議員から届出書が提出されました。

## 11月定例会の予定 ※日程は変更となる場合があります。

|                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 11月25日（火）                         | 本会議（招集日）    |
| 11月28日（金），<br>12月1日（月）～3日（水）      | 本会議（市政一般質問） |
| 12月4日（木）～5日（金），<br>12月8日（月）～9日（火） | 常任委員会       |
| 12月10日（水）                         | 特別委員会       |
| 12月12日（金）                         | 本会議（委員長報告等） |

## 行政視察

| 委員会名           |       | 日程      | 視察先    | 調査事項                    |
|----------------|-------|---------|--------|-------------------------|
| 総務委員会          | 委員長班  | 4/16～18 | 相模原市ほか | さがみはらみんなのシビックプライド向上計画など |
|                | 副委員長班 | 4/16～18 | 金沢市ほか  | 金沢文化スポーツコミッションなど        |
| 教育厚生委員会        | 委員長班  | 4/22～24 | 札幌市ほか  | 公立夜間中学など                |
|                | 副委員長班 | 4/23～25 | 足立区ほか  | 子どもの貧困対策など              |
| 環境経済委員会        | 委員長班  | 5/12～14 | 三浦市ほか  | 海の駅「うらり」など              |
|                | 副委員長班 | 4/22～24 | 函館市ほか  | 観光客誘致の取組など              |
| 建設水道委員会        | 委員長班  | 5/7～9   | 神戸市ほか  | 神戸ウォーターフロントビジョンなど       |
|                | 副委員長班 | 5/12～14 | 千葉市ほか  | Park-PFIによる千葉公園の整備など    |
| 旧合併町活性化対策特別委員会 | 委員長班  | 7/28～30 | 鳥取市ほか  | 地域振興未来会議など              |
|                | 副委員長班 | 7/14～16 | 呉市ほか   | ゆめづくり地域協働プログラムなど        |
| 官民連携在り方検討特別委員会 | 委員長班  | 7/29～31 | 横須賀市ほか | 民官連携窓口など                |
|                | 副委員長班 | 7/28～30 | 盛岡市ほか  | きたぎんボールパークなど            |
| 長崎港活性化対策特別委員会  | 委員長班  | 7/14～16 | 静岡市ほか  | 清水港におけるクルーズ船受け入れ施策など    |
|                | 副委員長班 | 7/23～25 | 福岡市ほか  | 博多港における物流ネットワークなど       |
| 議会運営委員会        |       | 7/28～30 | 益田市ほか  | 議会活性化の取り組み状況など          |

※行政視察報告書は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。→



次号：令和8年2月1日発行予定